

—目 次—

口腔・顎顔面領域の疾患

- A. 先天異常と後天異常 1
 - a. 口腔・頭蓋・顎顔面に症状をきたす先天異常
 - (1) 上顎発育不全を伴うもの
 - (2) 下顎発育不全を伴うもの
 - (3) 下顎過成長を伴うもの
 - (4) 顎骨の膨隆を伴うもの
 - (5) 顎骨内病変を伴うもの
 - (6) その他
 - b. 口唇裂・口蓋裂
 - (1) 口唇裂・口蓋裂の病態と治療方針
 - (2) 口唇裂・口蓋裂の手術法
 - (3) 唇顎口蓋裂の治療の流れ
 - c. 顎変形症
 - (1) 顎変形症の手術
 - d. 軟組織の異常
- B. 外 傷 9
 - a. 外傷の種類と特徴・治癒形態
 - b. 歯の外傷と歯槽骨骨折
 - c. 顎顔面骨折
 - (1) 上顎骨骨折
 - (2) 下顎骨骨折
 - (3) その他の顎顔面骨折
 - (4) 外傷時の検査法と治療法
 - d. 軟組織損傷
 - (1) 原因、種類、症状
 - (2) 診断、治療法

C.	炎症	19
	a. 歯性感染症の原因菌と感染経路	
	(1) 顎顔面領域における化膿性炎症の波及（組織隙）	
	(2) 組織隙と感染源	
	b. 急性炎症と慢性炎症	
	(1) 炎症の定義と分類	
	(2) 肉芽腫性炎（特異性炎）	
	(3) 検 査	
	(4) 治 療	
	c. 口腔領域の炎症	
	(1) 舌炎・口唇炎	
	(2) 智歯周囲炎	
	(3) 歯槽骨炎・骨膜炎・顎骨骨髓炎	
	(4) 歯性上顎洞炎	
	(5) 薬剤関連顎骨壊死	
D.	口腔粘膜疾患	33
	a. 口腔粘膜疾患の種類と特徴	
	(1) ウイルス性口腔粘膜疾患	
	(2) 自己免疫疾患	
	(3) 角化性病変	
	(4) 先天性病変	
E.	嚢 胞	41
	a. 嚢胞の種類と特徴	
	(1) 顎骨に発生する歯源性嚢胞	
	(2) 顎骨に発生する非歯源性嚢胞	
	(3) 軟組織に発生する嚢胞	
	b. 嚢胞の症状、診断法および治療法	

F.	腫瘍及び腫瘍類似疾患	53
	a. 良性腫瘍	
	(1) 歯源性腫瘍の WHO 分類 (2005) より代表的な良性腫瘍	
	(2) 非歯源性腫瘍	
	b. 悪性腫瘍	
	c. 腫瘍類似疾患	
	d. 前癌病変と前癌状態	
G.	顎関節疾患	70
	a. 顎関節の外傷	
	b. 顎関節の炎症	
	c. 顎関節症	
	d. 顎関節強直症	
H.	唾液腺疾患	73
	a. 唾石症	
	b. 唾液腺炎	
	(1) ウイルス性唾液腺炎	
	(2) Sjögren 症候群	
	(3) 慢性唾液腺炎	
	(4) 唾液腺腫瘍	
I.	神経疾患	79
	a. 三叉神経痛	
	b. 顔面神経麻痺	
	c. 三叉神経麻痺	
	d. 口腔顔面痛	

- J. 口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す疾患・・・・・・・・・・ 83
- a. 血液疾患
 - b. 免疫異常
 - c. 症候群
 - (1) 色素沈着を示す症候群
 - (2) 消化管ポリープを示す症候群
 - (3) その他
 - d. 薬物に関連する口腔・顎顔面領域の症状
 - e. 代謝障害

—目 次—

歯科医療に必要な麻酔と全身管理 p.1～37

A.	全身管理	1	E-1-4-1
	a. バイタルサイン		
	(1) 血圧		
	(2) 脈拍数		
	(3) 呼吸数		
	(4) 体温		
	(5) 意識レベル		
	b. 小児、妊産婦、高齢者の歯科治療時の注意点		
	(1) 全身状態の評価		
	(2) 小児の歯科治療時の注意点		
	(3) 妊産婦の歯科治療時の注意点		
	(4) 高齢者の歯科治療時の注意点		
	c. 医科疾患合併患者の歯科治療時の注意点		
	(1) 呼吸器系		
	(2) 循環器系		
	(3) 内分泌・代謝系		
	(4) 服用薬物の歯科治療への影響と歯科治療時の対応		
B.	精神鎮静法	9	E-1-4-2
	a. 精神鎮静法の特徴、目的、種類		
	(1) 特徴、目的		
	(2) 種類		
	b. 吸入鎮静法の適応、禁忌、使用薬物、合併症		
	(1) 適応		
	(2) 禁忌		
	(3) 使用薬物・機材		
	(4) 合併症		

c. 静脈内鎮静法の適応、禁忌、使用薬物、合併症

- (1) 適応
- (2) 禁忌
- (3) 使用薬物・機材
- (4) 合併症

d. 精神鎮静法の周術期管理

- (1) 術前管理
- (2) 術中管理
- (3) 術後管理

C. 局所麻酔法 13 E-1-4-3

a. 局所麻酔の目的、特徴、種類

- (1) 目的と特徴

b. 局所麻酔薬の分類と作用機序

- (1) アミド型
- (2) エステル型
- (3) 局所麻酔薬の作用機序

c. 局所麻酔作用に影響を及ぼす因子

d. 血管収縮薬の使用目的、種類、特徴、臨床使用上の注意

- (1) 血管収縮薬の使用目的
- (2) 血管収縮薬の種類、特徴、使用上の注意

e. 局所麻酔の実施法と合併症（偶発症）

- (1) 局所麻酔法の分類
- (2) 浸潤麻酔法の詳細
- (3) 伝達麻酔法の詳細
- (4) 局所麻酔の合併症（偶発症）

D. 全身麻酔法 19 E-1-4-4

- a. 全身麻酔の概念、種類、麻酔時の生体反応
 - (1) 全身麻酔法の目的
 - (2) 全身麻酔の大きな流れ
- b. 全身麻酔時に使用する薬物と使用機器・器具
 - (1) 麻酔前投薬
 - (2) 全身麻酔薬
 - (3) 鎮痛薬
 - (4) 筋弛緩薬
 - (5) 使用機器・器具
- c. 全身麻酔の適応、禁忌、合併症
 - (1) 適応
 - (2) 禁忌
 - (3) 全身麻酔の合併症
- d. 全身麻酔時の周術期管理
 - (1) 術前管理
 - (2) 術中管理（気道管理を含む）
 - (3) 術後管理

E. 救急処置 32 E-1-6

- a. 歯科治療時の全身合併症（偶発症）
 - (1) 全身的な合併症（偶発症）の種類と特徴
- b. 一次救命処置（BLS）
 - (1) 意識レベル、気道確保、呼吸、脈拍の把握方法
 - (2) 胸骨圧迫と人工呼吸（心肺蘇生法：CRP）
 - (3) 自動的体外式除細動器（AED）
- c. 気道閉塞と気道確保法
 - (1) 気道閉塞
 - (2) 誤嚥・誤飲時の症状と対応
- d. 救急処置に用いられる薬物と作用機序

—目 次—

不正咬合の治療

A. 不正咬合の治療 p.1～20

a. 矯正治療の目的	1
b. 正常咬合	1
(1) 正常咬合の種類	
(2) 正常咬合の成立・保持条件	
c. 不正咬合による障害	1
d. 不正咬合	2
(1) 不正咬合の原因	
(2) 不正咬合の種類	
(3) Angle の分類	
e. 検査	6
(1) 模 型	
(2) 模型計測	
(3) トゥースサイズレイシオ	
(4) アーチリングスディスクレパンシー	
(5) 頭部エックス線規格写真（セファログラム）	
(6) オーバーバイト、オーバージェット	
(7) セファロ分析	
f. 矯正治療	13
(1) 治療の分類	
(2) 保 定	

g. 矯正用器具	14
(1) バンド用	
(2) 線屈曲用	
(3) 結紮用	
(4) 線切断用	
(5) その他の器具	
h. 矯正装置	15
(1) 混合歯列期に用いる装置	
(2) 永久歯列期に用いる装置	
i. 矯正力の種類と力学	19
(1) 矯正力の種類	
(2) 力の作用様式	
(3) 歯の移動様式	
j. 生体反応	20
(1) 歯に矯正力を加えたときの組織変化	
k. 矯正治療に伴う医原性障害	20

—目 次—

画像検査を用いた診断

- A. 画像検査の原理 p.1～17
- a. 放射線の種類、性質、測定法と単位 1
 - (1) 放射線の種類と性質
 - (2) 放射線の測定法
 - (3) 放射線の単位
 - b. 放射線の人体（胎児を含む）への影響の特徴 6
 - (1) 身体的影響と遺伝的影響
 - (2) 急性影響と晩発影響
 - (3) 確定的影響と確率的影響
 - (4) 放射線感受性
 - c. 放射線防護の基準と方法 8
 - (1) 放射線防護の基準
 - (2) 放射線防護の方法
 - (3) 歯科用エックス線装置に関する規制
 - d. エックス線画像の形成原理 9
 - (1) エックス線の発生
 - (2) エックス線写真
 - (3) 画像不良の原因
 - e. デジタルラジオグラフィ 14
 - (1) 歯科用デジタルエックス線画像診断システム
 - (2) DICOM
 - f. エックス線装置とその周辺機器の原理、管理技術 15
 - (1) 口内法用エックス線装置
 - (2) フィルム、口腔内センサー
 - (3) パノラマエックス線撮影装置

B. 画像検査の実際 p.18～34

- a. 口内法エックス線撮影の種類、適応、実施、読影 18
 - (1) 平行法
 - (2) 二等分法
 - (3) 咬翼法
 - (4) 咬合法
- b. パノラマエックス線撮影の適応、実施、読影 21
 - (1) パノラマエックス線撮影
 - (2) パノラマエックス線撮影の正常像
- c. 頭部エックス線撮影の種類、適応、実施、読影 22
 - (1) 後頭前頭方向撮影法 (P-A 法)
 - (2) Waters 法
 - (3) 頭部エックス線規格撮影法 (セファログラム)
 - (4) 側斜位経頭蓋撮影法 (Schüller 法)
- d. 造影検査法の原理と基本的特徴 26
 - (1) 唾液腺造影検査法
 - (2) 血管造影検査法
- e. 超音波検査法の原理と基本的特徴 27
 - (1) 特 徴
 - (2) 適 応
 - (3) 種 類
- f. コンピュータ断層撮影法 (CT) の原理と基本的特徴 28
 - (1) CT の原理と特徴
 - (2) 歯科用コーンビーム CT
- g. 磁気共鳴撮像法 (MRI) の原理と基本的特徴 31
 - (1) MRI の原理と特徴
 - (2) T 強調画像
- h. 核医学検査法の原理と基本的特徴 33
 - (1) シンチグラフィ
 - (2) PET/CT